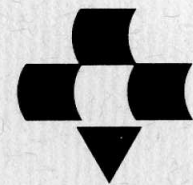


昭和57・58年度

神戸市立博物館年報

No. 1



はじめに

神戸市立博物館は、「国際文化交流、東西文化の接触と変容」を基本テーマとする人文系の博物館として、旧来の南蛮美術館、考古館を吸収合併し、昭和57年11月3日に開館しました。当博物館は、このテーマに基づき原始、古代から現代に至る祖先の生活や文化、また東西文化の接点にあった神戸が果たしてきた役割などを調査研究し、その成果を順次展示していくものです。

開館記念に「海のシルク・ロード」展を開催し、オランダをはじめ諸外国との文化交流の有様を展覧し、以後1年余りの間に5回の特別展を開催したほか、南蛮紅毛美術・古地図等の企画展示さらに在神在阪の各国総領事・領事による神戸国際文化講座の開講、ミュージアム・コンサートの開催など多彩な事業を積極的に実施してまいりました。

その結果、開館以来昭和59年3月末までの1年5か月の間に約18万8,000人の入館者を迎えることができました。これもひとえに関係各位の深いご理解とご協力の賜ものと厚く感謝しています。

このたび、これら昭和57・58年度事業のまとめとして年報第1号を刊行することになりました。当博物館は神戸の文化の新しい中心として市民各層から親しまれる博物館をめざし、一層努力してまいり所存でございます。今後とも皆様方のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和59年3月

神戸市立博物館長 井 尻 昌 一

